

平成27年9月30日

ご報告とお知らせ

＝大阪高校後援会は、来年度より「教育後援基金」として育友会へ引き継がれます＝

新秋の候、会員の皆様方におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より大阪高校の教育活動並びに本後援会活動にご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、大阪高校後援会は去る平成27年5月30日臨時総会を開催しました。昨年12月全国高校駅伝大会初出場へのお祝い等々後援会としてのこの間の各事業報告の承認とともに、来年度より大阪高校育友会に組織的統合し、新たに「大阪高校教育後援基金」を設け現後援会の趣旨を発展的に継承することが承認されました。それを受けて、6月6日、育友会総会では石川会長から後援会との組織統合の提案がなされ、後援会石井副会長より補足説明もあり、出席者からの若干の質疑、議論のあと、「大阪高校教育後援基金」の提案が正式に承認されました。

会員の皆様へのご報告が今日まで遅れましたのは、今年度事業計画が残っていたことです。夏休み中のクラブ活動支援として、連続31年インターハイ出場の陸上部、2年連続インターハイ出場の少林寺拳法部、日本選手権大会出場の日本拳法部。また、東北震災支援ボランティア活動への支援、夏期学習合宿でのOGOBボランティア支援を実行しました。また、9月30日を持って会計年度が終了すること。(後援会規約第16条)以上の事情で、皆様へのご報告が今日となった次第です。

したがって、大阪高校後援会としては、平成27年9月30日をもって正式に組織を解散いたしました。現在の全財産(会費収入の最終残金)は育友会に全額寄附いたします。

今後は「大阪高校教育後援基金」として大阪高校の様々な教育活動支援のために引き続き有効に活用されることとなります。「後援基金」の具体的な運用については、毎年育友会総会での報告・承認が必要となり、育友会運営委員会が全責任をもってあたることとなります。また、来年度入学生からは、入学時のみ「後援基金」として1人3,000円の徴収となり、継続的に「後援基金」を運用することができ、本校教育活動への様々な支援の充実が期待されます。

まもなく本校は創立90周年を迎えます(2017年)。今年度は過去最高の生徒数1768名となり今後益々発展することを祈念し、以上経過報告およびお知らせとさせていただきます。

ご支援ご協力をいただきました役員および会員の皆様、本当に長い間お世話になり感謝申し上げます。ありがとうございました。

以上

大阪高等学校後援会
清算人 津田 敏行(会長)
清算人 石井 智子(副会長)